



JAL不当解雇撤回ニュース

No556号 2018.03.05
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekakai.co>

今年こそ解決する!!!

== 1~2月にかけての主な取り組みから ==

160ヵ所の旗びらきに参加

2018年1月19日、JAL 争議団が東京地裁に提訴して丸7年が経ちました。争議団は年末年始各地で行われた忘年会・旗びらき、そして春闘討論集会等に参加し決意表明させていただきました。とりわけ旗開きについては、1月4日の大阪自治労連の旗開きを皮切りに、全国で160もの労働組合・団体から声をかけていただき、原告団も総出でこれまでの支援へのお礼と闘いの現状を報告、そして解決に向けての決意表明と引き続く支援を訴えました。



に、全国で160もの労働組合・団体から声をかけていただき、原告団も総出でこれまでの支援へのお礼と闘いの現状を報告、そして解決に向けての決意表明と引き続く支援を訴えました。

1月12日に行われた静岡県職春闘討論会、県共闘・中部地区労・県ユニット旗びらき(右の写真)、13日の静岡県評旗びらきの際には、多くの皆さんの協力のもと、市内の各労組へのオルグや、焼津、藤枝、静岡の3駅頭での宣伝行動(左上の写真)も取り組まれました。



1月9日に羽田空港で乗客ビラ、成田オペセンビラも9日からスタート

1月9日は今年最初の羽田空港での乗客ビラ(写真)が第1旅客ターミナルで、17:00~18:00時までの一時間実施しました。成田空港では1月18日と2月22日に実施しました。航空労働者に向けた定例宣伝行動は1月5日の天空橋駅での朝ビラからスタート。日航グループの社員に向けた成田空港の日航オペレーションセンタ



を続けています。

一玄関ビラは1月8日よりスタートし、昨年4月以降、ほぼ毎日(土日、祝日を除く)配布を続けており、現在は18春闘で職場要求の前進と争議の解決を実現すべく配布

29日はJALデー 一斉宣伝

毎月29日を基本に取り組んでいるJALデー一斉宣伝、1月は29日、2月は27日に都内6駅頭で実施しました。また横浜でも1月31日(写真)と2月26日に実施されました。



各駅頭の宣伝では、1月12日の経営協議会で社長が「私の代で解決したい」と発言したことや3月23日にILOより新たな対応が示される可能性が極めて高くなっていることを踏まえて、ビラを一新。「2018年を争議の全面解決を勝ち取る年にすべく一層の支援を」と訴えました。

愛と平和のバレンタインパレード

毎年恒例の愛と平和のバレンタインパレード。新婦人などの女性団体が主催するこのパレードは、回数を重ねて今年は33回目。JALの原告団も参加し、銀座をパレードしました。パレードでは、9条改憲ノーをはじめとする様々なスローガンを掲げ、銀座を歩き交う人に訴えかけました。



2月16日 東京と京都で「総行動」

2月16日、東京ではけんり総行動実行委員会による東京総行動が、京都では京都総評が主催する



京都総行動が実施されました。

東京では国交省前での宣伝行動と、争議解決に向けた

日航への指導を求め国交省要請が行われました。

京都では京セラ本社目前での宣伝と要請、そして市内での宣伝行動等



が実施されました。

オリンピック組織委、要請に対し「調達コードは守らなければならない」

2月16日、JAL 不当解雇撤回国民共闘として、東京2020組織委員会に対する要請をしました。

この要請は、昨年より面談による要請行動実施すべく調整を申し入れてきましたが、一向に実現しないことから、直接出向き、要請書を手渡すとともに日航にオフィシャルパートナーとしてふさわしい行動をとるよう働きかけていただくことを要請しました。

オリンピック憲章ではフェアプレーの精神やあらゆる差別の禁止が、また組織委員会が定めた調達コードでは「ILOの中核条約の遵守」がうたわれています。これらを守らなければならないオフィシャルパートナーのJALが、ILOの中核条約である87号・98号条約違反でILOの監視下に置かれているのです。

要請に対し組織委員会は「調達コードは守らなければならない」また「遵守は一義的には個々の企業の責任」との見解を示しました。

調達コード等によれば、「契約締結後もモニタリングを実施し、不遵守が判明した場合は改善措置を要求」「不遵守に関する通報受付窓口を設置」するとしています。

国民共闘は組織委員会に対し、日航への働きかけを行うよう、引き続き要請をしていきます。

2月23日 蒲田駅で大宣伝行動

東京大田区の実行委員会は、毎月定例の蒲田駅宣伝(1月11日、2月13日)に加え、2月23日に、春闘

勝利・すべての争議の早期解決をめざし大宣伝行動を行いました。大宣伝行動は大田春闘共闘が呼び掛けた行動で、定例宣伝より30分長い、17:30~19:00の一時半実施。パイロット原告の清田事務局長は「私の代で解決したい」と言った社長が3月一杯で退任し会長に就任することを上げ、「この機をのがさず解決すべく全力を挙げて取り組む」と決意表明し、支援を訴えました。用意した5000枚のチラシは予定時間前に完配となりました。



日航本社前での宣伝と要請行動 2月26日には婦団連が要請

JAL 不当解雇撤回国民共闘主催の日航本社前宣伝・要請行動が1月25日(写真)と2月8日に、また、婦団連の



代表による要請行動が2月26日に実施されました。今日まで支援団体による本社要請は、事

前に申し入れをしても応じないことから、アポなしで本社に出向き要請、日航は玄関先での対応するのが常でした。婦団連の要請では事前の申し入れで「要請を受けます」との返事があり、その後の調整で本社の受付の奥で、テーブルについて要請することに。対応した労務担当者は「オリンピックのオフィシャルパートナーにふさわしい対応を」「安全・安心を願う利用者として、日航の争議は無視できない」「一日も早い解決に努力を」とする要請に、耳を傾けメモを取っていました。

3月26日は 日航本社包囲大行動

参加者で本社を包囲し、植木社長は退任を前に争議解決を決断せよ!と日航に迫ります

日時:3月26日 18:30~19:30

場所:日航本社前(天王洲アイル駅下車)